



# 県議会報告 岡本かずやの「元気印」

四万十市事務所 :0880-34-3174 携帯:090-7573-8193

2023年7月2日 No.7

## 27日から本格的な政治論戦始まる



知事、教育長に熱く語る秦愛議員

### 和也の近況

梅雨明けまじか、孫が通う東山小学校では「夏祭り」が行われました。今年は市民祭も行われず。私は京町の提灯台に関わります。  
六月二七日から県議会の各会派による代表質問が始まりました。日本共産党からは秦愛議員が質問に立ちました。下の段に「下田中学校子どもたちの意見表明について」特集しました。

### 質問

(下田小中学校の子ども達が下田中学校を存続して欲しいと知事に渡した手紙「遠くて大きな学校には行きたくない。不登校になってしまおう」と言う不安の声や「地元の高い安全な高台に小中一貫校を作ってほしい」と言う切実な願いの内容に基づき)

(一)子ども基本法では子供の意見を尊重するように明記しています。子どもたちは知事が県のリーダーだからと知事を頼って県庁まで来ました。子どもたちの勇気、行動力への評価をどのように受け止めたのか。  
(二)子供の意見を受け止めた今、知事はどの様に対応するのか

### 答弁(知事)

(一)いただいたお手紙には、子どもたちの学校を大切に思う気持ちや統合に対する不安などが率直につづられており、その思いは私にも伝わってきました。また自分たちの思いを伝えるために、直接知事室まで足を運ぶという行動力には驚きました。

(二)統廃合について市町村で解決すべき県、国が対応すべきでない。しかし、納得されていない方がおられることも事実、四万十市には伝える

### 和也の感想

下田中学校の統廃合は当初八割の保護者が反対し統合の結論が出ない中、突然市長が「下田中学校校舎を利用して大学を開設する(約八億の税金を投入するも頓挫)」と議会で発表したことから地元住民や子供たちから不振と怒りを買ったことが尾を引いています。子どもたちの意見表明権に耳を傾け統廃合は振り出しに戻すべきです。